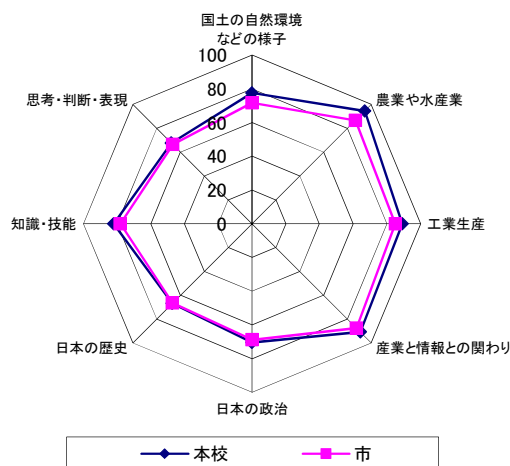


# 宇都宮市立錦小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	77.6	71.6	69.6
	農業や水産業	94.6	86.7	83.7
	工業生産	89.1	85.0	79.5
	産業と情報との関わり	90.8	87.7	77.4
	日本の政治	70.4	68.9	71.7
	日本の歴史	66.8	66.7	66.3
観点別	知識・技能	82.1	78.0	76.7
	思考・判断・表現	67.6	66.4	63.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は77.6%で市より6.0ポイント高かった。</li> <li>○日本の主な地形(湖)の名称を問う問題では、正答率が87.8%で市より13.8ポイント高かった。</li> <li>○沖縄県での自然環境を守る取り組みについて考える問題では、正答率が95.9%で市より15.2ポイント高かった。</li> <li>●日本の周辺の海洋名について問う問題では、正答率が85.7%で市より1.6ポイント低かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の地形の名称や自然を守る取り組みについてはよく理解している。日本周辺の海洋名や国内の林業が抱える問題についての内容の正答率が低かったので、改めて地図帳を活用してプリント学習に取り組むなど、既習事項を復習する機会を設けるようにする。</li> </ul>
農業や水産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は94.6%で市より7.9ポイント高かった。</li> <li>○米の生産の工程について問う問題では、正答率が89.8%で市より8.2ポイント高かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の米作りの盛んな地域や生産の工程についてよく理解している。野菜作りや漁業についての復習も行い、食料生産全体の問題について関心を高め、農業や水産業全体の知識を深められるようにしていく。</li> </ul>
工業生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は89.1%で市より4.1ポイント高かった。</li> <li>○工業製品の分類について問う問題では、正答率が100%で市より7.8ポイント高かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車を作られる過程や工業製品がどのように分類されるかについてよく理解している。今後も、日本の工業生産について外国との関わりにも着目しながら復習を行っていく。</li> </ul>
産業と情報との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は90.8%で市より3.1ポイント高かった。</li> <li>○さまざまなメディアの特徴についての理解を問う問題では、正答率が100%で市より3.7ポイント高かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの生活と情報との関わりについて、今後も関心を持ちながら学習に取り組めるよう、インターネットや資料集などの資料を活用した授業を積極的に行っていく。また、国語の情報活用の学習とも関連させながら授業を行う。</li> </ul>
日本の政治	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は70.4%で市より1.5ポイント高かった。</li> <li>○国民の義務についての理解を問う問題では、正答率が89.8%で市より2.1ポイント高かった。</li> <li>●国民と国会と内閣の関係についての理解をもとに、図を読み取る問題では、正答率が81.6%で市より1ポイント低かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民の生活は日本国憲法に基づいており、それにより安定した社会を実現することができることを確認する。特に、内閣の働き、国会と内閣の関係についての復習を行い、憲法についての理解を深めることができるようにする。</li> </ul>
日本の歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は66.8%で市とほぼ同等だった。</li> <li>○鉄砲の伝来についての理解を問う問題では、正答率が98%で市より10.3ポイント高かった。</li> <li>●源平の戦いの理解をもとに、資料を判断する問題では、正答率が32.7%で市より23.0ポイント低かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史についての理解は、定着している内容としていない内容の差が大きかった。そのため、その時代に関連する資料や視聴覚教材を効果的に用いながら、出来事と時代背景、人々の生活などを関連付けながら復習を行う。</li> </ul>